

親子でおもちゃをDIY

1 事業のねらい

おもちゃを作る創作体験により、遊びを創造する力を育むとともに、家族で一緒に遊ぶ機会を通して、家族間の交流を図る。

2 事業の概要

- 期日 R7.3.8(土)～9(日) 1泊2日
- 対象 小学1年生～4年生を含む家族
- 人数 11家族 32名 (応募 14家族 40名)
- 場所 ネイパル森、森町若年層担い手育成施設「iroMori」

3 プログラム

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
3/8 (土)	受付 9:00	開会	活動1 活動2	昼食	活動1 活動2	利用 説明	休憩	夕食	入浴 遊び活動	準備	就寝	就寝		
3/9 (日)	起床 6:30	朝食	清掃 点検	活動3	閉会	解散予定 11:00								

・活動1「おもちゃを作ろう」
・活動2「レクリエーション・材料探し」
・活動3「てづくりパチンコを作ろう」

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 親が子どもに教え、協力しながらできる活動
 - ・子どもが普段使わない道具を使う活動を提供することで、親が教えながら、協力して活動ができるようにした。
- おもちゃでの遊び方・ルールを家族内で決める
 - ・遊び方・ルールを家族内で決めてもらうことで、家族内での交流を図れるようにした。
- 家族間の交流を促す
 - ・活動の中に自己紹介をする場面を組み入れ、自己紹介を行う抵抗感を低くし、その後の他家族との交流を容易にした。



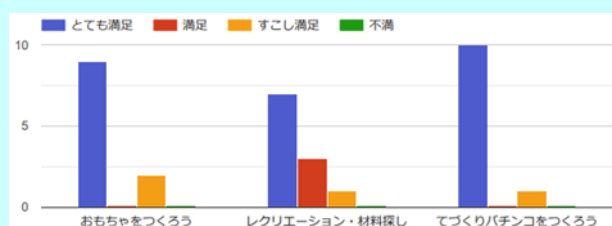
親子で協力しておもちゃを作製



作ったパチンコで遊ぶ様子

5 事業の評価

アンケートでは「とても満足」「満足」の肯定的評価が各活動で8割を超え、参加者が高い満足度を得る事業となった。



- 参加者アンケートから、
 - ・手軽に創作活動に取り組み、親子揃って楽しむことができた。
 - ・小刀やノコギリなど普段使わないものに触れ、よい経験をさせられた。難易度は、少し難しいくらいでちょうどよかった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 作成物でどのように遊ぶかを任せることで、家族内でのルールで遊ぶ様子が見られた。
- 普段使わない道具を使う場を提供することで、家族で交流し、子どもが成長する場となった。
- レクリエーションで自己紹介を行うことで、他家族との交流のハードルを下げる事ができた。
- 外部講師に依頼する際には活動難度などを密に打ち合わせをする必要がある。



企画のポイント

親が教え、子どもが成長を見せることができる家族単位での活動提供。
自分たちでルール創造する余地がある説明・作製物